

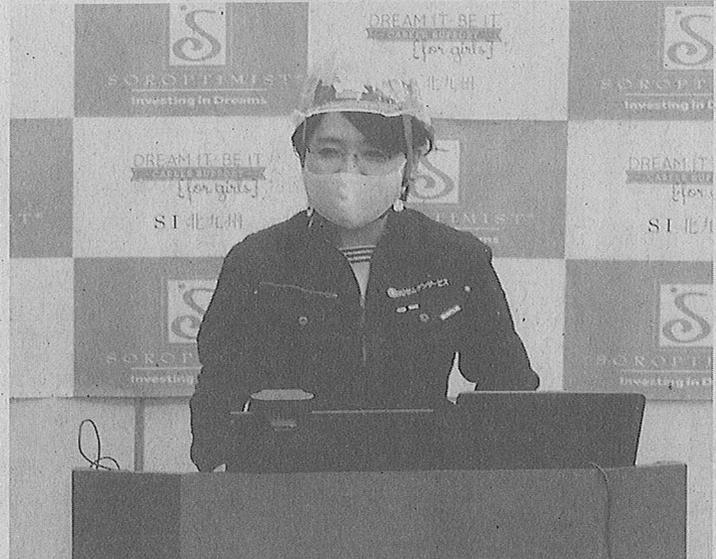
北九州

報道部 〒802-8651
 小倉北区紺屋町13-1
 毎日新聞西部本社
 電話093・511・1110 FAX522・1721
 seibuhoudo
 @mainichi.co.jp

購読相談室 0120-547012(平日10-18時)
 広告 531・6481 オリコミ 475・0300

活躍する女性らと 女子中高生が交流

オンラインで夢や目標を語り合う



オンラインの講話で、カメラ越しに中高生へ
 エールを送る籠田さん

社会の第一線で活躍する女性らとの交流を通じ、将来の目標に進む女子中高生を応援するイベント「夢を拓く」(国際ソロプチミスト北九州主催)が24日開かれた。オンラインで結ばれた小倉北区の会場の参加者と、中高生44人が夢や目標について語り合った。

小倉北区の建築工事会社「ゼムケンサービス」の籠田淳子社長(54)と、八幡西区在住のサクソフォン奏者、江口紀子さん(47)がキ

ャリアサポートとして参加。籠田さんは、自社の1級建築士8人中7人が女性で、子育てなどを経てキャリアを重ねていることを紹介し「あきらめずやればプロになれる」とエールを送った。江口さんも、中学時代に出合った楽器への愛着と、恩師や母に対する感謝を語り、「専門的な勉強は必要でも、みなさん夢はかなえられる」と励ました。

グループ別の交流では「落ち込む自分を支えてくれた部活動の顧問が目標」「心理に関わる仕事がしたい」「人を笑顔にするウエディングプランナーになりたい」と中高生が思いを伝え、どんな努力をしているかなど意見を交わした。【青木絵美】

田川ホルモン鍋専用鉄板 コロナ禍でも家庭で 手軽に本格的な味を

地元販売会社 改良重ね再商品化

田川市のご当地グルメ「田川ホルモン鍋」専用の鉄板を同市伊田の特産品企画・販売会社「KOYA」の金子

和智社長(50)が販売している。IH調理器でも使え「コロナ禍で外食を控えている家庭でも手軽に本格的な味が楽しめる」とPRしている。金子さんは田川市職員時代の2008年の11月29日(いい肉の日)



改良前(手前右)と改良後の

にまちおこしグループ「田川ホルモン喰楽歩」を設立。市議時代も各地のB-1グランプリに参加するなどし、ホルモン鍋を通じ田川の知名度アップに努めてきた。鍋は17年、市内の老舗焼き肉店で使われて

新型コロナウイルス感染者数(23日現在、カッコ内は前日からの増加数) 県のホームページを基に作成
 県外居住者など含む

累計	27407(334)
福岡	8107(121)
北九州	2821(37)
久留米	1052(7)
大牟田	892(15)
筑紫野	1152(42)
筑野	925(40)
筑野	1031(44)
筑野	766(14)
筑野	895(5)
幸	664(9)
幸	424(21)
幸	441(4)
幸	330(4)
幸	545(6)
幸	443(7)
幸	491(14)
幸	404(2)
幸	561(1)
幸	566(7)
幸	285(3)
幸	298(10)
幸	242(8)
幸	261(1)
幸	182(8)
幸	253(9)
幸	120(2)
幸	185(3)
幸	91(15)
幸	2710(39)
幸	671(9)
幸	465(7)
幸	417(16)

中村哲さん

中村哲さんがアフガニスタンで銃撃され亡くなられてやがて2年となる。無医村での診察と井戸掘りや農業かんがいの水路づくりの活動を著書で知った。そんな中村哲さんを応援したくて有志で後援会を立ち上げた。小倉駅まで迎えに行き、お会いした時の印象は小柄で華奢な

はがき随筆

感じを受けた。あの体でした土地で活動されていた尋常な覚悟では到底できない今回のタリバンによるアフガン政権奪回で中村哲さん築き上げたペシャワール動中止との話だ。泉下の方が30年間尽力されたを察するに残念でたまた